

緊急特集!
クリスマス業界を激震させる
新事実がこの論文に?!

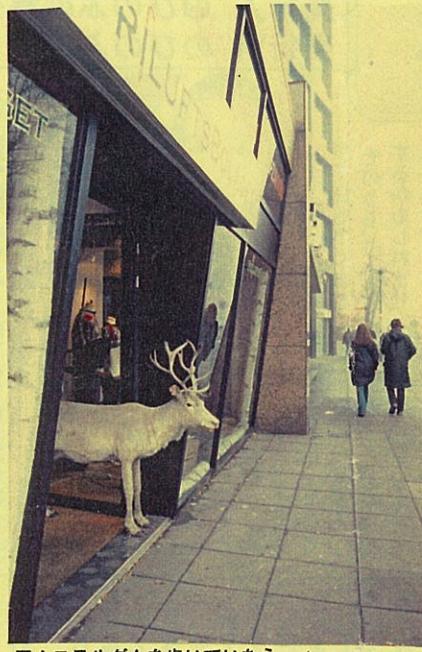
「クリスマス日本起源説

1・序章

聖ノビノンブ大学
クリスマス歴史学専攻科助教授

小口 雪松

★トナカイ衝撃写真★



アムステルダムを歩いていたら、
トナカイがお店から出てきた…。びっくり。



あやしい栄養補助食品
『北欧のパワー』
ゴールデンタナカイ
発見者: 小口先生。
な、なんとトナカイ幼角エキス
が入っているらしい…。
ほ、北欧の人たんにトナカイが健康
の元? 10粒入りで1000円!

ザ・病気自慢。2001年のびのぶ編集長の健康カルテ

- 1月: 前年に発症した帯状疱疹がまだ
ちょっと痛い。痕も少し残ってる。
4月: とうとう花粉症を発症! 注射を打つ
とあっという間に治った。でもお尻に
打ったところが少し凹んだ。そんな~
7月: クルーズの疲れとムックの進行のス
トレスからか、食事が取れなくなる。
初の胃カメラ(案の定気持ち悪かっ
た)。7キロ痩せる(でもすぐ戻る...)。
9月: 体力を失ったところにディズニ
シーのオープン。連日の取材で炎天下
日射病もどき(スタッフ皆)。迷子セン
ター、授乳室まで取材しました。
10月: 持病の偏頭痛の特効薬がとうとう
日本で発売される。てき面に効くが、
副作用で吐き気がある…。頭痛と吐き
気…う~ん、どっちがいいかなあ。
11月: 仕事を減らして、遊びに専念する
と、とたんに健康になった。分かりや
すい体である。やっぱり健康が一番だ。



↑犬ぞり犬の赤ちゃんを
ハグハグして喜んでいる
のびのぶ編集長。

広告

ヨーロッパの記事売ります。当方、ツーリズム、農業、科学、人物を中心とする執筆するベルギーのジャーナリスト。国々の相互理解のためにヨーロッパの情報を発信しております。ブリュッセルは、EUの首都でもあるため大物への取材も可。「コン・チキ・マン」を書いたTHOR HEYERDAHL氏(87)への取材経験もあり。パート。

世界中の写真売ります。当方、世界中をまわるトラベルジャーナリスト。国内外ほとんどのポジ写真あり。DHLにて至急発送。ボルトガル、南太平洋などは著書や写真集も発売中。イタリアの『ELLE』や『コンテンデンス』に執筆中。日本→イタリアへの発信も行えます。マルコ。

日本総代理店はのびのぶ編集長ってことで(笑)。ピンはねしませんので、お気軽にご連絡くださいね。

12月25日—クリスマス。言語音の英語表記はChristmasであり、Christとmassの組み合わせとなることから、[Christ]の「mass」(キリストのミサ)、すなわち、イエス・キリストの誕生日を祝うミサということになっている。しかし、当時のユダヤ・ベツレヘムでは、12月末には夜の気温が氷点下20℃以下まで下がっていたというから、馬小屋での出産など到底叶はずもない。歴史的見地からみても、12月25日はキリストが生まれた日とは考えられない。8世紀頃、ローマの土着宗教における太陽神の復活を祝う冬至の祭を、キリスト誕生譚に結びつけたというのが定説である。そして、イエス・キリストの生誕の日付については聖書に記述はなく、いろいろな説が唱えられているが正確な日付は確定されていない。しかしながら、それでも12月25日はキリストの降誕を祝い賛美する日とされている。それが伝統的な慣習となっているためだ。宗教に纏わる言い伝えとは、唯一無二である苦の歴史学的真理ではないこと、それは万人の認めるところであろう。北海道は然別(しかりべつ)の山あるいはオムネトーから更に山奥へ150km程そこにクリストーという名の村落がひつそりと息づいていた。こんな時代でも、外の世界とは一切接觸を絶ち、太古より続く固有の文化を受け継いでいることを知った時は、全くもって驚く他はなかった。住人たちは訛

の強い日本語を話すが、彼らの顔や身体の骨格などは日本人のそれとは程遠く、またアイヌ系とも異なる。身長は高く、金髪・碧眼であり、どこか北欧バイキングを彷彿とさせる雰囲気を漂わせていた。

私がこの村を見ることになったきっかけは、誠にお恥ずかしい話でありますが、が遺難なのである。昨年12月24日、19世紀最後の思い出として、大雪山から熱気球を飛ばし全国各地の子供たちにプレゼントを配りながら日本離断するつもりであった。しかし離陸直後に起つた突風により私は気球のボールにひどく頭を打つて氣を失った。気がついた時には、彼らに介抱されていたのである。

村人とと共に過ごしたその2週間は、実に興奮の極致であった。私の研究分野であるところのクリスマス歴史学における既存の常識が、すべて覆されたことになるような予感が張っていたのである。私がこのとき見聞きし、皆様にお聞かせしたいことは枚挙に暇がない。紙面の都合もあるので、まず本号においては序章として、滞在初日の出来事について書き留めることにする。

さて、私が気絶から目覚めたのは折りしも12月25日であり、この村では1年目の仕事納めの日に当たっていた。村の掟として、年内のこの日以降は決して仕事をしてはいけないとされていたのである。12月25日の早朝には、街角の至るところに「暮れの生業(なりわい)、済ますべし」と書かれた御輿書が掲げられる。この立て札のことを、人々は略して「暮れ済ます」と呼んでいた。また、テレビをつけても番組は放送されておらず、「暮れの生業、済ますべし」という静止画面が現れるだけであった。町を歩けば、背中に「暮れ済ます」という文字がプリントされたウインドブ

レーカーを着たミニスカートそしてスニーカー姿の若い女性が、至るところに立派な施設を配りながら、歩道を歩く。この禁を破った場合にどのような罰があるのかを知っている者は出でなかつたが、人々は律儀にそのまま従つている様子であった。

私が世話をした家の長の話では、12月に入った頃から、人々は「めいり、暮れ済ます?」「めいり」は土地の方で2人称の代名詞。「あなた」つまり、あなたは、一年の仕事をすべて片付けましたか?」の意。という挨拶を交わすのが習慣になっているというこである。そこで(それらが理由であるといふのは私の勝手な想像の域を出ない)洗濯を請負う一種のボランティア組織が登場するのである。その団体は、赤ら顔に長い髪を生やし、赤い襦袢(じでら)と赤い毛糸の帽子を身につけた「洗濯労守(せんたくねぎらいのもり)」と呼ばれる老人で構成されており、洗濯物を集めための白い大きな袋を担いで日々を廻る。恰幅が良く、いかにも気の良さそうな彼らは、みな「ふおつ、ほつ、ほお」という特徴のある笑い声を発して陽気に振舞い、出会った者を幸せな気分にさせる。

彼らは、その名を音読みにした「せんたくねぎらい」という愛称で呼ばれていたようであった。洗濯物を依頼したい家は、軒先に靴下を一つだけぶら下げることになつており、それが洗濯労守たちの立ち寄る目印となるらしい。

以上が、その村での第一日目に私が目にしたものである。この序章をお読みいただけた、皆様はどのような印象をお持ちだろうか? 第一印象は大切な仕事納め遵守のキャンペーンを行つてゐる。いや別に、本稿における初日の人々は、転じて12月25日のことも「くれます」と呼んでいるようである。この禁を破った場合にどのような罰があるのかを知っている者は出でなかつたが、人々は律儀にそのまま従つている様子であった。

私は序章として、滞在初日の出来事について書き留めることにする。さて、私が気絶から目覚めたのは折りしも12月25日であり、この村では1年目の仕事納めの日に当たっていた。村の掟として、年内のこの日以降は決して仕事をしてはいけないとされていたのである。12月25日の早朝には、街角の至るところに「暮れの生業(なりわい)、済ますべし」と書かれた御輿書が掲げられる。この立て札のことを、人々は略して「暮れ済ます」と呼んでいた。また、テレビをつけても番組は放送されておらず、「暮れの生業、済ますべし」という静止画面が現れるだけであった。町を歩けば、背中に「暮れ済ます」という文字がプリントされたウインドブ

のびのぶ編集長のその他の1年
(とりあえず振り返つてみました)。

ビューティに目覚める:

のびのぶ編集長ですが、なぜか美容ムックも作っています。昨年前半は小顔に挑戦し、10時間で約30万円相当くらいのエステの施行を受けました。叶姉妹が通っているという六本木のサロンや、藤原紀香ちゃんもやつてくるという整体サロン、クラオバトラみたいにしてあげるね」と先生があやしく笑うエステなどですもタダです)。本読んだり…とのんびりめのところです。今までは、いつも切羽つまつてタクシーに乗りまくつて、ストレスで買い物してましたが、「ここ最近は献血行つたり(笑)。ジョンソンで、不思議なお釜みたいなのをかぶつてみたり、19万円のシャンプーセットを使つたりしています。いつか、きっと美しいくなる日がやってくるのではないかと信じて、のびのぶ編集長は今日も通つて、電気を通して、グキッと整體されたりしましたが、結果は……。

今はヘアケアの実験中。新宿のヘアサロンで、不思議なお釜みたいなのをかぶつてみたりしてます。いつか、きっと美しいくなる日がやってくるのではないかと信じて、のびのぶ編集長は今日も通つて、電気を通して、グキッと整體されたりしましたが、結果は……。

今はヘアケアの実験中。新宿のヘア

集記

前半を終えて秋以降、すっかりのんびり体制を取りはじめたのびのぶ編集長は、月刊クリスマス作りも今年はゆつくりやつてます。ここ4、5年片付けもできなかつた仕事部屋も大掃除して、本4箱、CD1箱をブックオフに売り、ガラクタ&衣料品5箱もフリマで売り(楽しかったので、みんなまたやりましょう)、やつと少し落ち着いたところです。今まで、いつも切羽つまつてタクシーに乗りまくつて、ストレスで買い物してましたが、「ここ最近は献血行つたり(笑)。ジョンソンで、不思議なお釜みたいなのをかぶつてみたり、19万円のシャンプーセットを使つたりしています。いつか、きっと美しいとなる日がやってくるのではないかと信じて、のびのぶ編集長は今日も通つて、電気を通して、グキッと整體されたりしましたが、結果は……。

今はヘアケアの実験中。新宿のヘア

集記

本日は晦日。ハードだつた2001年